

ガバナンス

社会から信頼され持続的な成長ができる会社

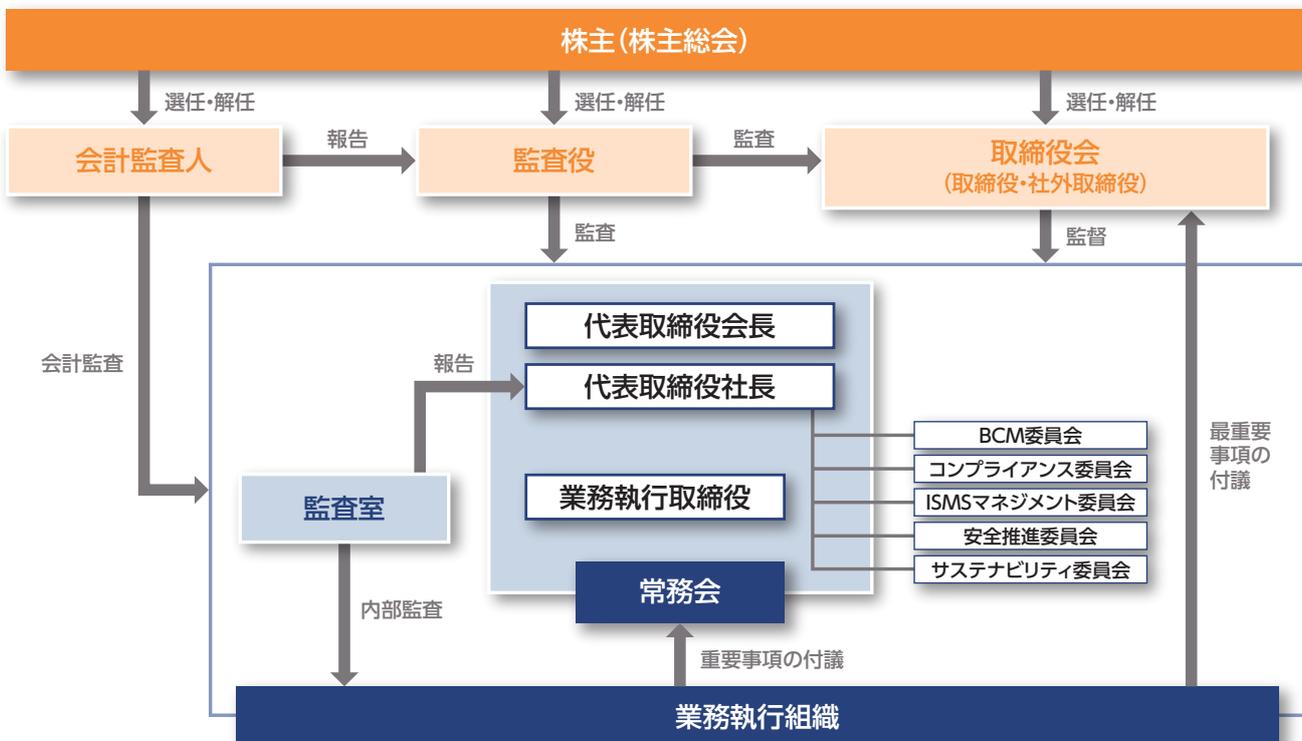
私たちが扱う化学品は、社会により豊かさや幸せを与えるものであり、その化学品産業の基幹をなすのが私たち物流事業です。物流業が産業の基幹をなしていることに誇りを持ち、社会的責任を果たします。

NRSグループが事業活動を行う上で基盤としているのが、「NRSグループ企業倫理綱領」です。「倫理に基づく行動」と「法の遵守」と「安全の重視」を基本に据えて、主体性と自己責任に基づく、良識ある公正な行動により、エクセレント・カンパニーとして広く社会から支持されることを目指します。

コーポレートガバナンス基本方針

倫理に基づく行動と法の遵守、安全品質を徹底します。そして私たちは多様な人格と個性を尊重し、顧客、取引先、従業員、株主を含むすべてのステークホルダーとの健全で良好な関係を築きます。これらを実現するため、健全でかつ透明、公正、迅速な意思決定を行う最適なコーポレートガバナンスの追求を続けます。

コーポレートガバナンス体制図



取締役会

経営の意思決定機関であり、重要な業務執行、経営戦略や方針を決定します。取締役の業務執行の監督および内部統制システムの構築など健全な業務運営を担います。

常務会

迅速な業務執行を目的とし、取締役会決議事項以外について定期的に審議します。その内容は取締役会に報告します。

監査役

取締役や執行役員の業務執行を監査します。また、コンプライアンスや会計等で適正な経営がなされているかを監査します。

監査室

業務執行部門から独立した立場で、業務の合规性・効率性・経済性・有効性を検証および評価し、その結果を取締役会等に報告します。監査役の職務執行について、その指示に従い補助業務を行います。

内部統制・法務・リスク管理部

NRSグループの内部統制システムの構築と運用管理、および経営リスクに関する情報収集・分析ならびに対応への取り組みに関する管理全般を行います。

コーポレートガバナンス研修の実施

2022年7月4日に役員を対象としたコーポレートガバナンス研修を実施しました。企業経営の健全化や法律を遵守した経営を目指すこと、そのための体制強化は重要な経営課題であるとの認識に立ち、外部講師をお呼びしてコーポレートガバナンスについての理解を深めました。

コンプライアンスの徹底

コンプライアンス委員会

社長を委員長としたコンプライアンス委員会を定期的を開催し、グループ企業も含めた全社的なコンプライアンス推進に関する重要事項の共有化、審議・検討を行い、その内容を取締役会に報告しています。

また、研修会やeラーニングを通じた法令、各種規制知識の徹底、および継続的な組織風土の改善による問題の発生防止、早期発見が可能な組織づくりや、業務監査や内部統制窓口の活用、コンプライアンス委員会活動等、問題の早期発見と再発防止に繋げるためのコンプライアンス体制強化に努めています。

内部通報窓口

倫理綱領、法令、社内規程等に違反した行為、または、違反の疑いがある行為を早期に発見し是正を図るため、内部通報窓口を設置しています。

- ・内部通報窓口：社内および社外（弁護士事務所）に設置 今後海外現法も対象として拡大予定
- ・通報・告発者の権利保護：公益通報者保護規程にて制定
- ・改正公益通報者保護法ガイドライン：準ずる



新輸出入管理体制による安全保障貿易管理の強化

国際社会が取り組む大量破壊兵器や関連貨物の不拡散という重要課題を会社として再認識し、安全保障貿易管理を強化するため、2021年11月より新体制で取り組んでいます。

1. 安全保障輸出管理規程の制定。組織体制、手続き、監査、教育、文書管理などの明確化。輸出入管理統括部門の新設。
2. 輸出承認手続きをシステム化（名称：楽々ワークフロー輸出管理）。輸入記録も含め、WEB上で文書ペーパーレス管理。
3. 新入社員向け勉強会の実施。全社員対象のeラーニングによる意識向上に努めています。
4. 法令改正情報の入手と適時の伝達。今後は内部監査により、さらなる改善を図っていきます。

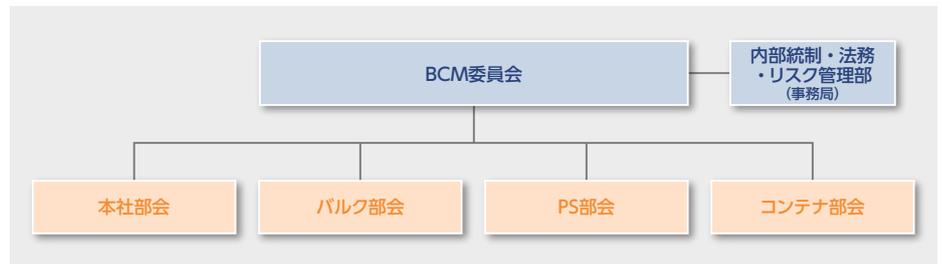
リスクマネジメント

リスクを横断的に管理する社長直轄体制を敷いており、①事業計画に関する活動の方針や施策の審議決定を行うBCM委員会、②情報機器管理に関するISO27001認証を取得し、ISMSマネジメント委員会を設置しています。

BCM委員会

危険物・化学製品・薬品等の輸送・保管、およびタンクコンテナ・リースで業界トップレベルのシェアを有するNRSグループは、大規模災害発生時や感染症のリスク下でも事業を早期に復旧し継続することが重大な社会的責任と考えています。

社長を委員長としたBCM委員会の議論をもとに、事業所ごとの「事業継続計画（BCP）」を点検・見直すことで、継続的にサービス・製品を顧客に提供できる体制をとっています。



情報セキュリティ

2020年に情報機器管理に関するISO27001認証を取得。情報セキュリティ方針のもと、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を確立し、情報セキュリティを維持するための活動を実践しています。2022年10月に情報セキュリティハンドブック第5版を発行し、社員に周知徹底を図っています。また、多要素認証によるアカウント管理、PCやサーバーなどの従来のエンドポイント対策に加え、2023年9月迄にグローバルでゼロトラストツールの導入を計画しており、人・機械の両面での対策を講じていきます。顧客の大切な情報を絶対に漏洩させない、高度な物流を支えるシステムを止めないという考え方のもと、セキュリティレベルのさらなる向上に努めていきます。

新型コロナウイルス感染症への対応

経営トップの指揮のもと、グループ社員・家族の安全確保、感染拡大防止および業務の継続を目的に、コロナ対策委員会を設置しています。各拠点の状況確認、マスクや消毒、検査キット等必要な物資の確保をしています。また、国内におけるワクチンの職域接種を社員は勿論、2親等までの家族（同居、別居問わず）、協力会社の社員まで拡大し、いち早く実施しました。

緊急事態への対応

重大な事故・災害の緊急事態が発生した場合に、NRSグループとして組織的に対応するため緊急事態措置規程を定めています。この規程は、対策レベル、対策本部の設置・構成・指揮、事業所の出勤・応援地域、現地での指揮、連絡体制、防災資材の準備、教育・訓練、事故災害報告書等で構成しています。

また、緊急時固定電話や携帯電話が使用不可の事態に備え、災害対策用通信機器である「ハザードトーク（機器名称）」を本社および国内全拠点に計45台配備、月に1度通信訓練を実施しています。

緊急時も事業継続の可否を速やかに把握でき、万が一継続不可の場合でもグループ内で連携して事業を復旧させ、継続的にサービス・製品を顧客に提供できる体制を整えています。

